

受験者のために

◎東京美術學校入學試験のよにつき屢々問合せあり、よつて同校某教授より示されたる本年試験成績を左に掲ぐべし

一、入學志望者は期日(毎年三月頃)迄に願書履歷書を差出す事

一、志望者は中學卒業、或は同程度の認可學校卒業のものに限る

一、願書を差出す時は特に何科へ入學し度かを申出る事

一、毎年四月選抜試験を行ふ、但選抜試験は志望者の數が豫定の人員を超過したる科に就てのみ行はる

一、本年の選抜試験は洋畫科及圖案科に於てのみなりしと覺ゆ

一、選抜試験の課目は、和漢文、日本、東洋、西洋、歴史、用器畫法、實技(洋畫は木炭、鉛筆畫、圖案科は圖案)

一、選抜試験に及第せしもの、内より豫定の人員を限り入學せしめ、始めて豫備科生徒に編入するものなり

一、豫備科生徒は、三ヶ月間美術歴史、外國語(英佛何れか)體操、用器畫、實技の

教育を受け、六月下旬に至つて左記の學科につき終末試験舉行せられ、後始めて本科一年生に編入さるゝものなり

一、入學者と志願者との割合は、洋畫科に於ては入學願書受付六十六、其内選抜試験により豫備に入學せしもの三十名、終末試験により一年生に編入せられしもの二十三名

一、選科生は毎年必らず募集するとは定まり居らず、本科生に缺員ある時に限る、本年洋畫科は五名だけ入學許可されたり

一、選科生の入學試験は、九月十二日より十八日迄、實技の試験を行なひ、且高等小學二年卒業せざるもの限り、十九、二十の兩日に、讀書、作文、及書取の試験をなし、夫等に及第せしものを選科一年生に編入す

一、本年選科志望者は三十名ありて五名入學を許されたり、尤も實技は二回行はれたりととき

以上

◎本年入學試験の問題は取調べそのうち報導すべし

近事雜聞

△水彩畫講習所生徒數名は、去る天長節に多摩河畔拜島に一泊寫生會を催したり

△太平洋畫會に於ても、去月最終土曜日、全じく拜島地方に一泊寫生會を試むる筈にて、同會幹部數氏及生徒の大半は同行すべしといふ

△太平洋畫會の新築彫塑教室は、此程落成したるを以て、不日開場式を擧げ、此際各科共入學を許すべく、又夜の部は河合新藏氏主任として銳意教育に従事せらるゝ筈、更に中川八郎氏及、不日歸朝すべき吉田博氏を主任として、新に風景畫部を設くるべしとせり

△眼病の爲め久しく大坂に靜養中なりし石井栢亭氏は、追々快癒に近づきしを以て此程歸京せられたり

△日本葉書會にては本月上旬神田錦輝館にて第二回繪葉書展覽會を開く由

◎中等教員本試験問題は紙面の都合により次號に掲載すべし